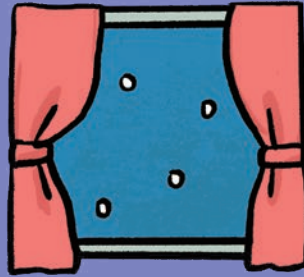


まごころ高槻

特集

呼吸器内科





まごころ高槻

February Vol.31

ボン吉



まかみさん



目次

特集 呼吸器内科 2

Pick Up!
From 入退院支援センター 7

イベントのお知らせ
新任医師のご紹介 9
祐生会YouTube

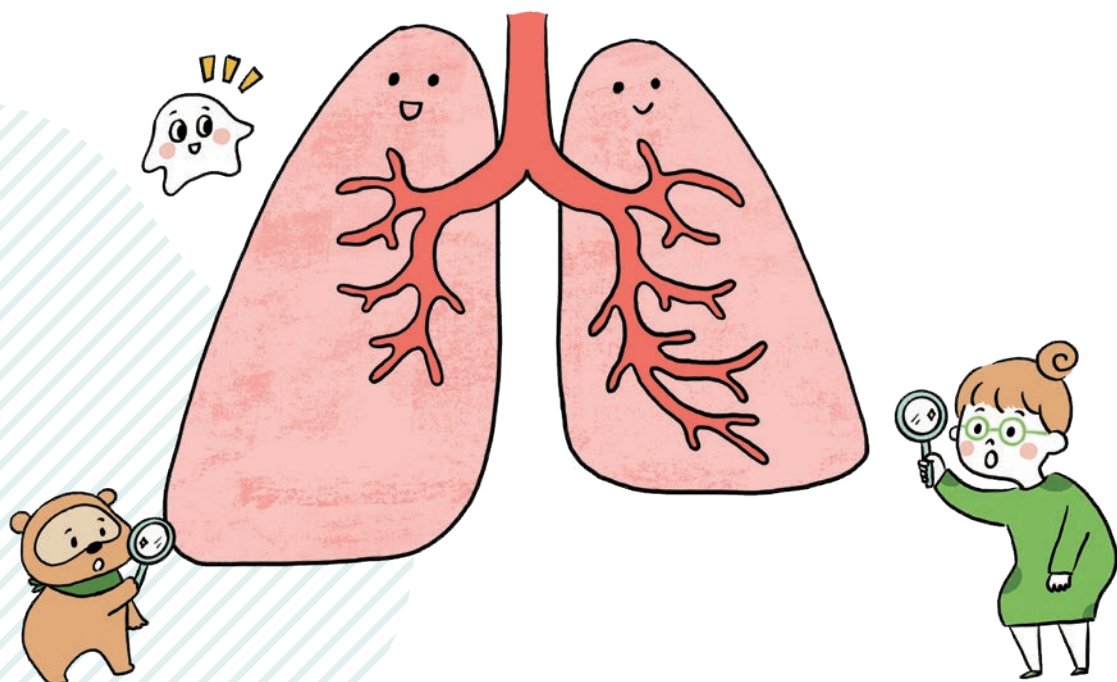
診療所紹介【池浦整形外科】 10

呼吸器内科

みどりヶ丘病院の呼吸器内科は、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、呼吸器感染症、肺炎、その他の呼吸器疾患を含む幅広い病気の診断と治療に対応しています。

主な治療としては、必要に応じた薬物療法（吸入薬・内服薬など）や酸素療法、リハビリテーションとの連携による呼吸リハビリ、さらに合併疾患や全身状態に応じた総合的なケアを行っています。加えて、急変時の救急対応も可能な二次救急指定病院として機能しており、緊急入院や急性増悪にも対応できるのが特長です。

さらに、地域の医療機関や訪問看護ステーションと連携し、退院後や在宅療養の支援にも力を入れています。これにより、高齢者や慢性疾患のある方も安心して継続的な医療を受けられる体制が整っています。



アレルギーによる

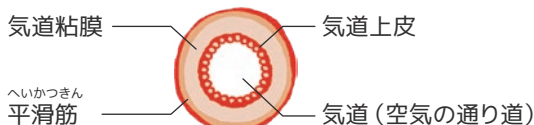
肺疾患

呼吸器のアレルギー疾患には、気管支喘息、アレルギー性鼻炎、アレルギー性咳嗽（がいそう）（ぜんそく）やアトピー咳）、好酸球性副鼻腔炎などがあります。いずれもアレルギー反応によって気道や鼻の粘膜に炎症が起こり、咳や息苦しさ、鼻づまり、くしゃみなどの症状が現れます。特に気管支喘息は、気道（空気の通り道）が敏感になり、炎症によって腫れたり狭くなったりすることで「ゼーゼー」「ヒューヒュー」といった喘鳴や息苦しさが生じる代表的な疾患です。

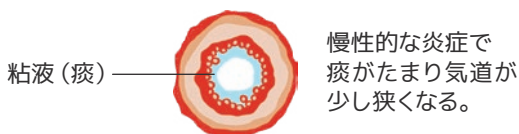
原因はアレルゲン（アレルギーを引き起こす物質）が体内に入ることによって免疫が過剰に反応してしまうためです。代表的なアレルゲンには、ダニやハウスダスト、スギなどの花粉、ペットの毛やフケ、カビ、黄砂などがあります。また、冷たい空気、運動、風邪、気候変動、ストレス、喫煙や大気汚染、ウイルスや細菌感染なども症状を悪化させる要因となります。喘息は遺伝的な体質が関係することも多く、「家族にアレルギー体質の人がいる」といった背景が発症のリスクを高めます。

喘息の状態

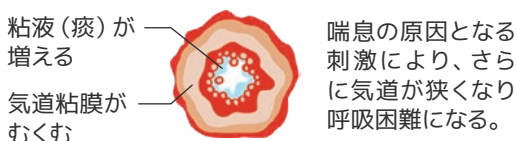
正常な気道



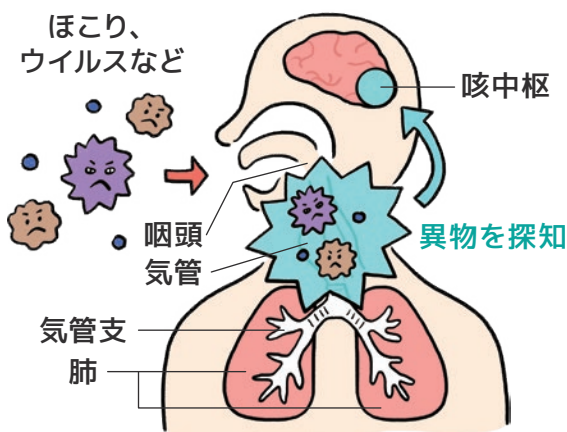
喘息の方の気道（発作がないとき）



喘息の方の気道（発作があるとき）



咳のメカニズム



治療の基本は「炎症を抑えること」と「症状をコントロールすること」です。気管支喘息では、もっとも重要な治療は吸入ステロイド薬で、気道の炎症を抑え、発作を起こしにくくします。必要に応じて気管支拡張薬を組み合わせることも多く、最近では1つの吸入器に複数の薬が入ったタイプが主流です。

アレルギー性鼻炎では、抗アレルギー薬やステロイド点鼻薬を使います。また、原因となるアレルギーを少量ずつ体に慣らす「アレルギー免疫療法（舌下免疫療法）」も有効です。重症の喘息に対しては、生物学的製剤と呼ばれる注射薬による治療が選択されることもあります。

呼吸器アレルギー疾患は、正しく治療を続けることで症状を大きく改善し、日常生活を快適に過ごせるようになります。咳が長く続く、季節の変わり目に息苦しさが出る、夜間や朝方に症状が悪化するなどのサインがあれば、早めに医療機関へご相談ください。



肺の健康チェックリスト こんな症状が出たら 要注意！

- ☒ 咳が2週間以上続いている
- ☒ 夜間や早朝に咳が悪化する
- ☒ 運動や階段の昇り降りですぐ息切れしやすくなった
- ☒ 「ゼーゼー」「ヒューヒュー」という喘鳴が聞こえる
- ☒ 以前より痰が増えた、色が濃い、血が混じる
- ☒ 急に発熱・咳・息苦しさが出て治りにくい
- ☒ 風邪の後に咳だけが何週間も続いてしまう
- ☒ 繰り返し肺炎にかかる
- ☒ 長年喫煙している、または過去に大量喫煙歴がある
- ☒ 健康診断の胸部レントゲンで異常を指摘された

気になる
症状があれば、
早めに受診
しましょう!!



COPD

(慢性閉塞性肺疾患)

COPDとは？

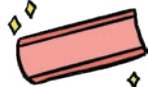
COPD（慢性閉塞性肺疾患）とは、主に長年の喫煙などによって気管支や肺が慢性的に炎症を起こし、空気の通り道が細くなる病気です。息を吸うよりも吐くことが特に難しくなるのが特徴で、階段を上ると息切れしやすい、痰が増える、長引く咳が出るなどの症状がみられます。進行はゆっくりですが、放置すると日常生活にも影響が出る場合があります。またウイルスや細菌感染による肺炎などで咳、痰、呼吸困難が急に悪化することもあります。

健康な肺とCOPDの肺

健康な肺

呼吸により吸い込まれた空気は気管支を通り、肺胞という場所で酸素が取り込まれ、全身をめぐるります。

正常な気管支



正常な肺胞



COPDの肺

細い気管支が炎症を起こし、空気が通りにくくなります。肺胞が壊れることにより、酸素を取り込むことが難しくなります。



痰が分泌されて気管支が狭くなり、息苦しくなる。



肺胞が消え、酸素を取り込む弾力性や収縮性が低下する。



主な原因は喫煙です。たばこの煙に含まれる有害物質が気管支や肺を傷つけることで炎症が続き、肺の弾力が失われていきます。たばこを吸っていないくても、受動喫煙や大気汚染、粉じんを吸い続ける環境で働くことなどが発症のきっかけになる場合もあります。

また、まれに遺伝的な体質が関係することもあります。発症を防ぐ上で最も大切なのは、たばこを吸わないこと、そして吸っている方は早めに禁煙することです。

COPDの原因は？

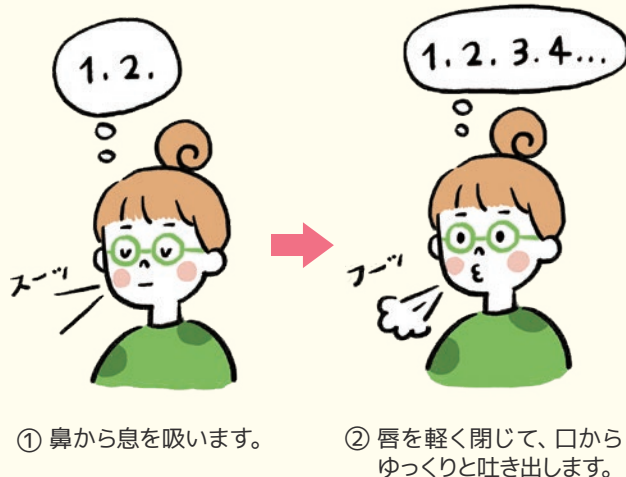
治療法は？

治療の中心は「禁煙」と「薬物治療」です。禁煙は進行を食い止める最も効果的な方法で、必要に応じて禁煙補助薬を使います。薬物治療では、気管支を広げて呼吸を楽にする吸入薬（気管支拡張剤）がよく使われます。症状が強い場合は複数の薬を組み合わせることもあります。また、呼吸リハビリテーションと呼ばれる運動療法は、息切れを改善し、体力を保つのに役立ちます。病状が進んだ場合には、在宅酸素療法を行うこともあります。

COPDは早期発見と継続した治療によって症状を大きく改善できます。息切れや咳が続く方は、早めに医療機関に相談してください。

呼吸リハビリテーション

口すぼめ呼吸



腹式呼吸



地域の皆さんへ

呼吸器内科からメッセージ

地域の皆さんの健康を守るため、私たちは「呼吸」に関わるあらゆる症状に丁寧に向き合っています。咳が続く、息切れが気になる、季節の変わり目に体調を崩しやすいなど、些細なことでも遠慮なくご相談ください。早めの受診が、病気の進行を防ぎ、毎日の生活をより快適にします。地域の「かかりつけ呼吸器内科」として、安心して通える医療を提供し、皆さんの健康づくりをサポートしてまいります。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

総合内科／呼吸器内科 部長

竹村 昌也

たけむら まさや

日本内科学会内科認定医・総合内科専門医
日本呼吸器学会専門医・指導医
日本アレルギー学会専門医（内科）・指導医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
京都大学医学博士

Pick Up!

From 入退院支援センター

みどりヶ丘病院地域支援課は、地域連携室・医療福祉係・入退院支援センター（入退院支援係）の3部門に分かれ、地域にお住まいの皆さんに安心して生活していただけるよう、地域の医療機関やかかりつけ医、介護施設との調整や連携を行い、包括的な医療を提供しています。

2020年に開設した「入退院支援センター」では、入院支援を担う看護師と事務、退院支援を担う看護師に分かれて業務を行っています。

部署を超えて、医師、看護師、医療ソーシャルワーカー（MSW）、管理栄養士、薬剤師、地域のケアマネージャーなど多職種で連携し、患者さんご家族に寄り添います。

入退院支援センター
（入退院支援係）

医療福祉係

地域連携室

地域支援課



入退院支援センターの仕事は？

入退院支援センターでは主に入院支援と退院支援を行っています。

入院支援では、入院パンフレットや説明書を用い、患者さんご家族に向けて入院生活の説明を行っています。また、病歴や日頃の生活背景をお伺いし、入院生活での留意点や退院後の不安点を、入院前から把握するよう心がけています。

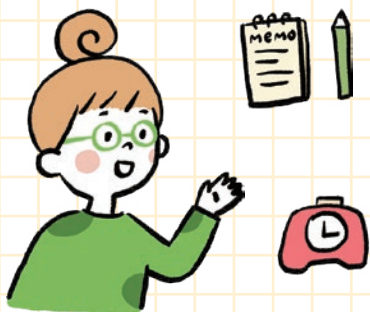
退院支援では、患者さんやご家族の意向をお伺いした上で、退院後の患者さんが住み慣れた地域でその人らしく過ごせるよう、お手伝いしています。退院後の患者さんを地域へ繋ぐ役割に誇りを持ち、尽力しています。



MSWとの情報共有



患者さんへの入院説明



入院支援

- 入院が決定した患者さんへの入院説明とオリエンテーション
- データベース入力
- 退院困難事例の抽出

退院支援

- 入院患者さんの退院調整
- 在宅療養支援（医療ソーシャルワーカーと協議）
- 介護支援の連携（随時介護支援専門員と面談）

入院支援

入院が決定している患者さんやご家族の場合は、事前に入院目的を把握した上で面談を行います。患者さんに安心して医療やケアを受けていただくために、アレルギー食や服薬管理方法など配慮が必要なことを丁寧に聞き取り、入院中に起こりうる問題を未然に防ぐよう努めます。

救急搬送された患者さんなどの緊急入院説明の際には、入院や退院後の生活に不安を感じている患者さんやご家族が多く見られます。事務的なお話だけでなく、看護師による症状の説明や医療ソーシャルワーカー（MSW）による介護保険のご案内など、安心して入院していただけるようチームで対応しています。



連携機関との研修会

退院支援

退院支援看護師が最も大切にしているのは、患者さんご家族の思いです。患者さんに住み慣れた地域で生活復帰していただくことを目標に、看護師としての知識に加え、さまざまな制度やサービスをご案内しています。

超高齢社会を迎えた日本では、急性期病院に入院できる日数が短縮傾向にあり、入院中に「退院後の療養方法」を検討しておくことが欠かせません。退院後すぐの在宅療養に不安がある場合は、介護老人保健施設の利用や訪問医療をスムーズにご案内できる医療連携システムが確立していますので、遠慮なくお問い合わせください。

みどりヶ丘病院は高槻市の中心核病院として、地域医療の一翼を担っており、当院での治療後もかかりつけ医との間で連携を継続し、在宅でも安心して療養生活ができるように退院支援をしています。入院されていないなくとも、介護や福祉のご相談にご利用ください。

地域の皆さんへ

入退院支援センターからメッセージ

みどりヶ丘病院入退院支援センターでは、患者さんに安心して入退院いただけるよう、病院内・地域内のさまざまな医療福祉機関・職種と連携を持ち、支援体制を強化しています。

患者さん一人ひとりに最適な医療福祉サービスを提供できるよう、これからも日々精進してまいります。

在宅療養のことなど、相談ごとがありましたらお気軽にお問い合わせください。



お問い合わせ

電話 072-681-5726（直通）

時間 月～土曜日 8:30～16:45



イベントのお知らせ

トイレの悩みをあきらめない 泌尿器から考える元気な毎日

2026年3月14日(土)、「みどりヶ丘病院 第10回市民公開講座」を開催します。

講師は泌尿器科/女性泌尿器科の奥末理知医師です。

男性も女性も「トイレの悩みがある、気になる」という方はぜひお越しください！

みどりヶ丘病院 第10回市民公開講座

トイレの悩みをあきらめない 泌尿器から考える 元気な毎日

開催日時
2026年
3月14日(土)
受付開始 13:30～
講演時間 14:00～15:00
(質疑応答を含む)

参加無料

クロスバール高機 8F イベントホール
高機市緑屋町1-2 / JR 高機駅から徒歩5分



講師
みどりヶ丘病院
泌尿器科/女性泌尿器科
おくすえ りち
奥末 理知 先生

定員先着 150名
定員になり次第終了



公式LINEで予約ができます！

今回よりみどりヶ丘病院公式LINEにて予約が可能となります。期間中は24時間申し込み可能なことに加え、お電話よりも早くご予約いただけます。ぜひこの機会にお友達登録をお願いします！

LINE公式アカウントにて、「みどりヶ丘病院」と検索、またはQRコード・ID検索からご登録いただけます。

ID @393nbzev

受付期間 2/16(月)～2/27(金)
期間中24時間受付



みどりヶ丘病院
公式LINE

電話 080-3488-6793 (申込専用)

受付期間 2/24(火)～3/6(金)
平日13:00～16:00 (土日祝は休み)

新任医師のご紹介

糖尿病内科

ひでしま えりこ

秀嶋 絵理子 鹿児島大学(平成24年卒)

日本内科学会認定内科医/日本糖尿病学会糖尿病専門医

茨木市出身で、昨年まで済生会茨木病院で糖尿病・代謝疾患の患者さんの診療にあたってきました。地域の皆さんのお役に立てよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

脳神経外科

やまだ ひろのり

山田 浩徳 関西医科大学(平成31年卒)

地域の皆さんの「脳の健康」を守るため、日々診療に励んでいます。脳の病気は早期発見・予防が何より大切です。「いつもと違う」と感じたら、迷わず頼ってください。確かな技術とチーム医療で、患者さん一人ひとりの自分らしい生活を支えるため、全力を尽くします。

祐生会YouTube



第2弾のシリーズは糖尿病内科 銭林医師が「糖尿病」の原因や合併症、治療について解説する動画を配信予定です。ぜひご視聴ください！

チャンネル登録はこちら▶



公式YouTube



診療所紹介 池浦整形外科



いけうら あつし
院長 池浦 淳

開院したきっかけ

当クリニックは、元々父が開業していた土地であり、私自身も幼少期より生活してきた思い入れのある場所のため、この地での開業を選びました。2006年に父が亡くなり、その際に継承を考えましたが、当時は医師としての経験が浅く断念いたしました。その後15年以上の臨床経験を重ね、地域の皆さんに貢献できる力が備わったのではないかと感じ、50歳を迎える節目であった2025年5月に再開をさせていただきました。

診療所の特長

私はこれまで大学病院において脊椎疾患の治療を長年担当し、多くの手術に携わってまいりました。そのため脊椎疾患については、豊富な知識と経験を有しております、それ以外の整形外科疾患や外傷にも幅広く対応いたします。また、脊椎疾患と骨粗鬆症との関係が深いことから、骨粗鬆症治療に

住宅街の一角に、2025年5月に開院された池浦整形外科。院内は木の温もりを感じられる内装に加え、ご高齢の方にも優しいバリアフリー設計となっています。脊椎脊髄専門医である池浦淳院長の丁寧な診察・治療と経験豊富な理学療法士が提供する充実したリハビリテーションが特長のクリニックです。

診療に対する思い

も積極的に取り組んでいます。当院はDEXA法による骨密度測定を行い、先進的な骨粗鬆症治療をご提供することが可能です。さらに、当院には経験豊富な理学療法士が2名在籍し、公認アスレティックトレーナーも配置しています。加齢性疾患からスポーツ外傷後のリハビリまで幅広く対応しておりますので、お気軽にご相談ください。

医療機関への通院は、多くの場合、身体の不調によりやむを得ず行われ、症状によっては長期にわたることもあります。そうした中で、患者さんが安心して過ごせ、通院の負担を感じにくい居心地の良い医院でありたいと考えています。困ったときに気軽に相談できる存在を目指しておりますので、整形外科はもちろん、整形外科以外の悩みでも遠慮なく来院いただければ幸いです。

池浦整形外科

住所 〒569-1022 大阪府高槻市日吉台二番町3-7

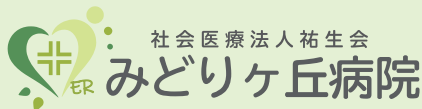
TEL 072-689-1001

診療科目 整形外科、リハビリテーション科

診療時間 9:00~12:30 / 15:30~18:30

休診日 木曜日、土曜日午後、日曜日、祝日

HP <https://ikeura-seikei.com/>



〒569-1121 大阪府高槻市真上町3丁目13-1

診療受付時間 8:30~12:00
※受付終了時間は診療科によって異なります。

休診日 日曜日、祝日、年末年始

時間外診療 24時間365日対応

お問い合わせ 072-681-5717 (代表)



広報誌に関するご意見・ご感想
お問い合わせは 祐生会広報まで

祐生会広報電話番号

072-681-5764

✉ midori-info@midorigaoka.or.jp



みどりヶ丘病院
ホームページ

